

S08b 3rd EGRET 1958+2909 近傍の銀河面電波源モニター観測

新沼 浩太郎、大師堂 経明、遊馬 邦之、国吉 雅也、松村 信夫、市川 創、大久保 理基澤野 昭博、吉村 直也、岳藤 一宏、神吉 貴博、坂井 南美、田村 陽一、土屋 純一（早大宇宙物理学研究所）

早稲田大学那須パルサー観測所において完成した 20 m × 8 素子固定球面鏡を用いて基線長 42 m、84 m でのフリンジ観測を行っている。

6 月末から 7 月はじめにかけて赤緯 32 °ラインを観測したが、その際、3rd EGRET カタログにおける未同定線 Source との比較を試みた。

赤経 19 h 54 m、20 h 01 m 付近に、比較で用いた GREEN BANK カタログには載っていない電波源が受かっていた。日周運動にともない 4 分弱ずれを示しているが、フリンジがほとんど確認できない日もあった。キャリブレーションには変動しない天体 3 C 48 を用いた。

Ohio Survey(1950.0) カタログを確認したところ、32 °ゾーンの赤経 20 h 01 m 付近に電波源があるが、歳差章動を考慮すると赤経で 2~3 m ずれている。

11 月にもほぼ同じゾーンを観測したが、6 月と同じ赤経にある電波源が 3 C 48 と比較して強度で 0.4 倍から 1.4 倍の間の日変動を示していた。

赤緯で 3 °南、同じ赤経、に未同定の 3rd EGRET Source 3EG1958+2909 が存在する。